

法の基礎 (日本国憲法を含む)

~2017

科目コード

AH1007・
AH1030

| | | | |
|-----|--------------|------|-------|
| 単位数 | 履修方法 | 配当年次 | 担当教員 |
| 4 | R or SR (講義) | 1年以上 | 菅原 好秀 |

※すでに本科目を履修登録している方が対象の科目です。下記記載の「■講義内容」「■レポート課題」「■アドバイス」以外の項目は、p.54「法の基礎」(科目コード：AH1036、2単位)を参照してください。

※これから「法の基礎」を履修登録される場合は、p.54「法の基礎」(科目コード：AH1036、2単位、履修方法：RorSR)を参照してください。

※2017年度以前入学者で、4単位での受講を希望する場合は、履修登録用紙の右下の空欄に記入してください(履修登録は2021年11月20日まで可能)。

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2019年度は開講しません(次回開講は2020年度)。

※オンデマンド・スクーリングは2019年度開講予定です。

※この科目は2022年度まで開講します。レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験は2022年度まで可能です。

※2019年度のオンデマンド・スクーリング受講までスクーリング単位2単位(12コマ)ですが、2020年度のスクーリングより、スクーリング単位1単位(8コマ：予定)に変更となります。

スクーリング

■講義内容

| 回数 | テーマ | 内容 |
|----|--------------|--------------------|
| 1 | 日本国憲法の基本原理 | 個人の尊重の意義について |
| 2 | 基本的人権 | 社会権の意義について |
| 3 | 統治機構の課題 | 国会・内閣・裁判所について |
| 4 | 地方自治 | 住民自治・団体自治について |
| 5 | 民法の基本原則 | 私的自治の原則について |
| 6 | 総則 | 意思表示・代理について |
| 7 | 物権・債権 | 物権・債権の種類と内容について |
| 8 | 成年後見制度の概要 | 成年後見制度の制度趣旨について |
| 9 | 成年後見制度の現状と課題 | 成年後見制度の現実的な問題点について |
| 10 | 更生保護制度の概要 | 更生保護制度の制度趣旨について |
| 11 | 更生保護制度の現状と課題 | 更生保護制度の現実的な問題点について |
| 12 | まとめ | |
| 13 | スクーリング試験 | |

レポート学習

■レポート課題

| | |
|-------|--|
| 1 単位め | 日本国憲法の基本的人権について論じてください。 |
| 2 単位め | 成年後見制度を説明した上で、医療行為の同意権の課題についてあなたの考えを述べよ。 |
| 3 単位め | 『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。 |
| 4 単位め | 『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。 |

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

(2017年度以前履修登録者) 2018年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2017』記載の課題でも2019年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。ただし、『レポート課題集2017』記載の4単位めの論述式課題に合格した方は、2単位めの課題は『レポート課題集2017』の課題で提出してください。

(2018年度以前履修登録者) 2019年4月よりレポート課題の2単位めが変更になりました。『レポート課題集2018』記載の課題でも2020年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

■アドバイス



基本的人権の制度趣旨と各人権の分類を示しながら、社会権を中心に言及してください。また、社会権で問題となった裁判事例について、判例の内容を踏まえて自説を展開してください。



成年後見制度の「後見」「保佐」「補助」の各制度趣旨、内容を示してください。また、成年後見制度における「医療行為の同意権」の課題（成年後見人には医療行為に同意する権限がない）についてあなたの考えを述べてください。



教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。